

SPECIES DIVERSITY は、日本動物分類学会が発行する査読制のオープンアクセス誌である (<https://www.speciesdiversity.org/>)。本誌は『Proceedings of the Japanese Society of Systematic Zoology』の英語報文後継誌で、その日本語報文後継誌である『タクサ』を補完する。分類、系統、種分化、生物地理、生活史等について、あらゆる角度から研究した論文を発行し、動物の種多様性に関する国際的な情報交換を円滑にすることが本誌の目的である。

原稿の受理は、その内容が他の刊行物にこれまで投稿あるいは受理されていないことを前提とする。訂正を除くすべての原稿は、編集委員長と編集委員により選出された少なくとも2名の審査員により査読を受ける。訂正は編集委員長の審査を受ける。出版の基準は論文の科学的価値にある。原稿の受理に関する最終的な責任は編集委員長にある。編集委員長と発行者は、著者と読者との間の情報伝達を円滑にするために、曖昧な表現や反復を削除するなど、原稿を修正する権利を有する。掲載される論文の著作権は学会が有する。したがって、著者は論文の出版前に、当該論文に係る全ての著作権（著作権法第27条及び第28条の権利を含む）を学会に譲渡する。なお、当該論文に補足資料がある場合その限りではなく、補足資料に係る著作権は譲渡の対象外とする。2023年出版の28巻第2号より、本誌に掲載される論文は全てクリエイティブ・コモンズ・ライセンス【表示4.0】の下で公開される。掲載される論文の一部の著作権が第三者によって保持されている場合、著者はその著作権所有者より利用許諾を得ると共に、原稿中にその著作権を明記しなければならない。

投稿は原著論文、短報（分類学/命名規約的備考）、総説、訂正のいずれかの形態とする。総説または訂正の投稿を希望する著者は編集委員長にあらかじめ連絡をとる必要がある。各論文はDOAJ, EBSCO, Scopus, およびZoological Recordに登載される。

原稿作成にあたり、最新の投稿規定はwebを確認すること。

**掲載料および他費用:** 著者の少なくとも1名は日本動物分類学会の会員でなければならない。ただし編集委員会から執筆依頼された著者による投稿は、この限りではない。

**日本国外からの投稿:** 海外在住の著者は、論文掲載料として5千円を支払うことで、支払った年の12月まで、日本動物分類学会の会員としての資格を有する。会員である期間に投稿した論文について、追加の費用は発生しない。

**日本国内からの投稿:** 2023年より一般会員の年会費は8千円で、本誌とタクサの購読料を含んでいる。

**ページチャージ:** 原著論文は別刷30部を無料とする。ページチャージは、カラー印刷とする場合は5千円（+税）/カラーページを課し、白黒印刷でPDFのみカラーとする場合は無料とする。

**投稿:** 原稿、表、および図は1つの電子ファイル（MS Word）にまとめ、5 MB以下のファイルサイズにして（図の圧縮）、電子メールの添付ファイルとして編集委員会（委員長）宛に投稿する：齊藤知己 E-mail: [speciesdiversity@jssz.sakura.ne.jp](mailto:speciesdiversity@jssz.sakura.ne.jp)（〒781-1164 高知県土佐市宇佐町井尻194 高知大学 総合研究センター 海洋生物研究教育施設）。ファイルサイズの圧縮に問題があるときはファイルを送る前に連絡する。

加えて、以下の4つの記述を必ず含めたカバーレターを準備し、原稿と共に投稿すること。詳細は原稿内「宣言」中のCompeting interestsやEthicsなどにも明記すること。

- (1) 著者全員が投稿に同意し、責任著者（連絡著者）は投稿に際し共著者の許可を得ていること。さらに、「各著者の貢献」に各著者の論文や研究に対する貢献度を明記すること。
- (2) 本論文は未発表であり、また他の学術雑誌などでの発表が同時に審査・検討されていないこと。
- (3) 本論文は、いかなる個人または団体の著作権またはその他の所有権も侵害しておらず、いかなる種類の虐待的、中傷的、わいせつ、詐欺的、またはその他の不法な記述も含まれていないこと。
- (4) 著者らは、本論文で報告された研究に影響を与えた可能性のある既知の利益相反がないこと。実際に利益相反が存在する場合は、この声明に代えてここに明記しなければならない。

**著者の倫理的責任と公開:** 本誌は「ヘルシンキ宣言」の倫理規定を支持する。研究はこの枠組みの中で行われなければならない (<https://www.wma.net/what-we-do/medical-ethics/declaration-of-helsinki/>)。投稿された原稿は、テキストマッチング・ソフトウェア「Crossref Similarity Check」(<https://www.crossref.org/78services/similarity-check/>)を用いて、剽窃及び重複掲載がチェックされる。本誌は、不正行為への対応については、WAME (World Association of Medical Editors)の原則とガイドラインを支持し、これに従う: Recommendations on Public Ethics Policies for Medical Journals (<https://wame.org/recommendations-on-publication-ethics-policies-for-medical-journals/>)。

生物多様性条約 (CBD)の遺伝資源へのアクセスと利益配分 (ABS, Access and Benefit-Sharing)に基づき、遺伝資源の利用に関する国際的な法律や、標本を採集した国の法律を適切に遵守すること。また、海外の遺伝資源を用いた場合、原稿にはABSを正しく遵守していることを示す適切な証拠（公文書の番号、担当した現地機関の名称など）を記載すること。必要に応じて、ABSアドバイザー・エディターは、著者が倫理的責任を正しく遵守するための提案や提言を行う。

**原稿の体裁:** 原稿はマイクロソフト社の「ワード」、もしくはそれと互換性のあるアプリケーションでA4判にダ

ブル・スペースで作成する。すべてのページの下部中央に連続したページ番号を入れる。使用言語は英語とする。綴りは英式、米式（現代用語）のどちらでもよいが、全文を通して統一する。全般に「Scientific style and format: the CBE manual for authors, editors, and publishers」（ケンブリッジ大学出版1994年）に準ずる。英語を第1言語としない著者は、投稿前に原稿の文法と統語法の点検を受けなければならない。内容はある特定の分野の専門家ではない研究者にも理解できるものであること。以上の要件を満たしていない原稿は、査読の前に著者に返却される。原稿の並び順は次のとおり。

タイトルページ：投稿論文の題名、すべての著者名とその住所を書く。連絡を受けたり、著者校正をしたりする著者の完全な住所と電話番号、ファックス番号、電子メールアドレスを記すとともに、当該研究が行われた機関から移動した著者がもしあれば、その現住所も記す。主題には、可能であれば論文の主要部で使われた主なキーワードを含めること。また、属名または種名が使われたときは、綱/門を明示すべきであるが、学名の著者（命名者）は表示しない。短いランニング・タイトル（スペースを含めて60文字未満）も付記すること。

要旨 (Abstract)：すべての原稿に、研究の目的とおもな成果を300語以内でまとめた簡潔で、論文の全容がわかる要旨を付けること。使用された生物名（著者名と発表年を含む）を記す。文献の引用は含めない。

キーワード (Key words)：論文の検索に資するために、3語から10語のキーワードを要旨の下に記載すること。

緒言 (Introduction)：当該研究の位置づけを示す十分な背景情報を述べ、論文の目的を明確に示す。緒言には調査結果や結論を含めないこと。

試料および方法 (Materials and Methods)：他の研究者が追試できるように、簡潔かつ十分詳細に示し、また試料の出所をできる限り詳細に記すこと。

結果 (Results)：結果は文章、表および図の中で、順序立てて述べるべきで、同じデータを違った形で繰り返し提示することは避ける。「考察」に入れるべき事項を含めないこと。

考察 (Discussion)：ここでは、緒言から導かれたあらゆる仮説と関連づけて結果を考察し、当該研究を他の研究との関連の中に位置づけるべきである。純粋な記載論文では、「試料と方法」「結果」そして必要であれば「考察」をひとまとめに記述してもよい。

補足資料 (Supplementary Information)：ここに示す補足資料のタイトルあるいは簡単な説明を記すこと。著者は論文の中で補足資料の引用をする。例えば、‘Supplementary Fig. 1’、‘Supplementary Tables 1, 2’あるいは‘Supplementary Movie 1’。原稿に補足資料が引用されていない場合は、このセクションを設ける必要はない。

謝辞 (Acknowledgments/Acknowledgements)：ABS規制の遵守を証明する適切な証拠を含む、学術的支援についてはここに謝辞を述べる。また、著者の責任で他の刊行物からの引用許可を得る。また、本誌ウェブサイトに「投稿規定」とともに掲載されている「具体的な事例」を参照すること。

各著者の貢献 (Authors Contributions)：著者個々の貢献を明瞭に示すこと。責任著者は、全著者の貢献が正確に記されていることを確認する責任がある。貢献の記述はCRediT (Contributor Roles Taxonomy; <https://credit.niso.org/>)の項目に従って記す：

John Smith: Conceptualization; Writing – original draft; Formal Analysis; Writing – review & editing. Taro Yamada: Supervision; Funding acquisition; Writing – review & editing.

研究助成金 (Funding)：全著者の研究助成金の詳細（助成金番号を含む）を記入すること。特に助成金などを受けていない場合は、次のように記述する：

This research has not received any specific grant from any funding agency, commercial or not-for-profit sector.

宣言 (Declarations)：利益相反についての宣言をここに記す。利益相反がない場合は、次のように記載する：

**Competing interests.** The authors declare no conflicts of interest.

何らかの倫理的問題に関係のある研究が行われた場合、倫理委員会などからの実験許可の詳細を宣言する：

**Ethics.** The animals used in this study were treated in accordance with the Regulation on Animal Experimentation under the permission numbers XXXX, YYYY.

引用文献 (References)：本文中での文献の引用は、丸括弧（ ）内に著者名と発表年をコンマで区切らずに示す。著者が2名の場合は、すべての場合において著者名をandでつなぐ。3名以上の場合には、すべての場合で第1著者名の後にet al.をつける。同一著者による同年発表の論文を複数引用する場合は、発表年のあとにa, b, c等をつけ加える。一つの丸括弧内にいくつかの文献を引用する場合はセミコロンで区切り、年代順に並べる。[e.g., (Nakano 2010, 2014; Nakano and Lai 2012)]本文中で用いられた学名の出典は、見出しならびにシノニムリスト中のものを除き、引用文献に含めない。

引用文献は、原稿の末尾に次のような形式で、第1著者名のアルファベット、共著者の数、発行日の順で並べる。なお、第1著者が同一である著者2名による文献の場合は、第2著者名のアルファベット、発行日の順で並べ、第1著者が同一である3名以上の著者による文献の場合、発行日の順で並べること。雑誌名は略記しないこと。与えられている場合はdoiを明記すること。

- Baker, H. R. 1980. A redescription of *Tubificoides pseudogaster* (Dahl) (Oligochaeta: Tubificidae). *Transactions of American Microscopical Society* 99: 337–342. doi:10.2307/3226011
- Distant, W. L. 1904. *The Fauna of British India, including Ceylon and Burma. Rhynchota, Vol. 1. Heteroptera*. Taylor & Francis, London, xxxviii + 438 pp., 3 pls. doi:10.5962/bhl.title.9193 [in part]
- Ferraguti, M., Grassi, G., and Erséus, C. 1989. Different models of tubificid spermatozeugmata. *Hydrobiologia* 180: 73–82. doi:10.1007/BF00027539
- Finogenova, N. P. and Shurova, N. M. 1980. A new species of the genus *Aktedrilus* (Oligochaeta, Tubificidae) of the littoral zone of the Sea of Japan. Pp. 6–69. *In*: Kusakin, O. G. (Ed.) *Coastal Plankton and Benthos in the Northern Parts of the Sea of Japan*. Academy of Sciences, Vladivostok. [In Russian]
- Motokawa, M. 2017. “Land emergence” and “elevation shift” affect diversification: a new perspective toward understanding the high species diversity of terrestrial animals in Japan. Pp. 3–23. *In*: Motokawa, M. and Kajihara, H. (Eds) *Species Diversity of Animals in Japan*. Springer Japan, Tokyo. doi:10.1007/978-4-431-56432-4\_1

印刷出版物と、公表の要件を満たす電子出版物の公表年が異なり、かつ新学名提唱など命名法的行為を含む出版物のみ、以下のように引用する（下記の例は電子出版物が2016年に、印刷出版物が2017年にそれぞれ出版された）。

- Yoshida, T. and Motomura, H. 2016. A new cardinalfish, *Verulux solmaculata* (Perciformes: Apogonidae), from Papua New Guinea and Australia. *Ichthyological Research* 64: 64–70. doi:10.1007/s10228-016-0539-2

インターネット等の電子文献／サイトを引用する際は次のような形式で書くこと。

- Fricke, R. and Eschmeyer, W. N. 2012. A guide to fish collections in the Catalog of Fishes database. Available at <http://research.calacademy.org/redirect?url=http://researcharchive.calacademy.org/research/Ichthyology/catalog/fishcatmain.asp> (16 March 2012).

原タイトルがローマ字を用いない言語のみで書かれている論文や書籍の場合は、英文に翻訳したタイトルを角っこで囲んで表示し、さらに書籍の場合には翻字したタイトルも示すこと。

- Katayama, H. and Takahashi, F. 1980. [Tadpole shrimps—their introduction to Japan and ecology]. Pp. 133–146. *In*: Kawai, T., Kawanabe, H. and Mizuno, N. (Eds) *Nihon no Tansuiseibutsu—Shinryaku to Kakuran no Seitaigaku [Freshwater Organisms of Japan—Ecology of Invasion and Disturbance]*. Tokai Daigaku Shuppankai, Tokyo. [In Japanese]
- Makushok, V. M. 1958. [The morphology and classification of the northern blennioid fishes (Stichaeidae, Blennioidei, Pisces)]. *Trudy Zoologicheskogo Instituta Akademii Nauk SSSR* 25: 3–129. [In Russian]
- Reshetnikov, Y. S. 2003. *Atlas Presnovodnykh ryb Rossii. V Luvkh Tomakh. Tom 1. Vtoroye Izdaniye [Atlas of Russian Freshwater Fishes. In Two Volumes. Vol. 1. Second Edition]*. Nauka, Moscow, 379 pp. [In Russian]
- Sheiko, B. A. and Fedorov, V. V. 2000. Glava 1. Pp. 7–69. *In*: Moiseev, R. S. and Tokranov, A. M. (Eds) *Katalog Pozvonochnykh Kamchatki i Sopredelynykh Morskikh Akvatoriy [Catalog of the Vertebrates of Kamchatka and Adjacent Waters]*. Kamchatskiy Petchatniy Dvor, Petropavlovsk-Kamchatsky. [In Russian]

**表**: 表は別個のページに作成する。上部にアラビア数字による連続した表番号と内容を説明したタイトルを付ける。表内の列の見出しは簡潔にし、( ) に計測単位を記す。脚注のための上付文字（数字以外）を付け、脚注は最小限にとどめる。列を区切るための縦線は使わない。表のおおよその挿入場所を原稿の余白に記す。

**図**: すべての図（写真を含む）は電子メールの添付ファイルとして投稿する。TIFF形式、JPG形式、GIF形式、PICT形式、BMP形式、AI形式のファイルが印刷可能であるが、出版社が推奨するファイル形式はAdobe社の「フォトショップ」や「イラストレータ」で作成したEPS形式である。線画、35 mmリバーサルフィルム、印画紙に焼いた白黒写真などの非デジタル素材をスキャナで読み込んで電子化する際の推奨解像度は以下のとおり：線画は1200 dpi、白黒写真は266 dpi、線画と白黒写真の組み合わせの場合は800 dpi、カラー写真は350 dpi、線画とカラー写真の組み合わせの場合は600 dpi。片段印刷の場合の図のサイズは幅85 mm、両段印刷の場合は幅177 mmに合わせ、253 mmの高さを超えないこと。電子ファイルを加工して図を作成する場合は上記の解像度とサイズを参考にすること。

図の説明文はそれのみで理解できるようなものとし、別個のページに作成する。説明には使用したすべての符号の定義を含める。図のおおよその挿入位置を原稿の余白に記すこと。



**略語および単位:**単位はできる限り国際単位系（メートル，キログラム等）を使う．統計値および計測値に関しては，文頭でない限り必ず10 mmなどの数字を使う．とくに下付，上付文字のように数学の表記法と混同しやすい用法は避けるべきだが，負の指数は一貫して使用するならばこの限りではない．略語は標準的なもののみを使う．

文頭でない限り，Figure/FiguresはFig./Figsと略記する．

**学名:**どの動物の学名も，最初に記すときにその著者（命名者）名と発表年（植物は著者名のみ）をカンマで区切って併記する．属名は，他の属名が介在して混同する可能性がなければ，後の使用をイニシャルのみに省略してもよい．生物の通俗名を用いる場合，初回に正式な学名を併記する．

**その他:**文書作成ソフトウェアを使って原稿を作成するには以下の事項に従うこと．

- (1) 段落内では改行を行わない．
- (2) 句読点の後は1スペースだけ空ける．
- (3) タイトルページと見出しを除き，行末は揃えない（つまり行の左端のみを揃え，両端揃えにはしない）．
- (4) 合成語の場合を除き，行末にハイフンを用いない．
- (5) 必要などころにはイタリック体を使い，下線は引かない．
- (6) 数字の1（イチ）の代わりに英字の1（エル）を用いない．また数字の0（ゼロ）の代わりに英字のO（オウ）を用いない．
- (7) ページフッター機能を用いること．ページ番号を本文中に挿入しないこと．
- (8) ハイフン，n-ダッシュ，m-ダッシュを区別して使用すること．

**チェック項目:**原稿を送る前に次を確認のこと．

- (1) 本文中に引用した文献がすべて「引用文献」に含まれているか．
- (2) すべての図と表が本文中に昇順で引用されているか．
- (3) 「引用文献」は適切な形式で記されているか．
- (4) 図や表の挿入箇所を記入したか．

**ZooBankへの登録:**命名法的行為を含む受理済み原稿については，出版前に編集委員会がZooBankへの登録を行う．したがって，著者が自身の論文や命名的行為をZooBankに登録する必要はない．付与されたZooBank LSIDは，各論文の1ページ目に明記される．

**初校の校正と別刷:**初校のみ著者に送られるので，受け取り後3日以内に編集委員長に戻すこと．校正段階での文章，図などの変更は認められず（印刷ミスの訂正は例外），オリジナル原稿の変更は有料となる．

料金表の付いた別刷の注文書が初校とともに連絡責任著者に送られる．校正後の初校とともに注文書を返送すること．別刷は本誌発行後3週間以内に通常便で郵送される．

（改訂：2024年7月17日）  
SPECIES DIVERSITY 編集委員会